

「スーパーベンチャーの創り方」

～TKP 創業者 河野貴輝の起業論～出版記念パーティー

参加者総数 600 人超!

規模も顔ぶれも“けたちがい”の大パーティーをレポート



河野貴輝氏 (TKP 代表取締役社長) の起業論を弊社社刊上巻が著した書籍「スーパーベンチャーの創り方～TKP 創業者 河野貴輝の起業論～」(野社刊) の刊行記念パーティーが、会場となった TKP ガーデンシティ品川の改装披露目会もかねて 2014 年 10 月 2 日 (木) 開催された。政財界の大物や関係者を中心に 600 人を超える参加者で会場は埋め尽くされ、盛大なひとごみとなった。

発起人一同・敬称略

ゼロアワーに向けて高まる昂揚感

政財界のビックネームや有名文化人も多く参加しての華やかな出版記念パーティーがいよいよ始まりそうとしていた。TKP ガーデンシティ品川の正面玄関に次々とドレスアップした参加者が吸い込まれていく。会場には全 60 卓を超える 10 人掛けのテーブルが際なく配置され、広々とした TKP ガーデンシティ品川のボールルームでさえさすがに手狭な印象だ。会場 20 分ほど前から一気に席は埋まり始め、ゼロアワーに向けて会場の昂揚感は高まっていった。

いよいよ開幕。河野氏による挨拶

時計の針が 19 時を指しフリーアナウンサー 住吉美紀さんの進行でパーティーはスタートした。幕開きはもちろん河野貴輝氏によるあいさつ。まずは「スーパーベンチャーの創り方」に託した思いが語られた。

「本書制作がスタートしたのは今から 1 年半ほど前のこと。オータパブリケーションズの太田社長、村上専務との食事会でのお話

きたいとの思い、そしてこれから迎える 40 代 50 代を突くものとするためのプースター的な役割を期待してこの本の出版を決定しました。両親から始まり、小中高と大学の同級生、伊藤忠商事時代を含め社会に出てから深くかかわったキーマンすべてへのインタビューによる構成で、月並みな経営者インタビューとはひと味もふた味も違う内容。ネットバブル崩壊時の混乱や TKP 創業時の模様も活写されています。

続いて、河野氏は TKP の今後の展開について言及。「現在、規模でもサービス内容でも業界ナンバーワンです。今後

もそれに甘んじることなく成長していきたい。具体的には当会場のようにホテルの宴会場を整備するなどして企業向けに特化した会場を整備・充実させます。また、その先にあるセミナーホテルや、それらと関連するケータリング事業にも力を入れていく」。

すでに上海、香港、シンガポールにも事業展開しているが、今後は海外進出をさらに推し進めるといふ。リニューアルした TKP ガーデンシティ品川については「内装も非常にきれいになって、近隣のホテルと比べても立地、サービス、ハード面で引けをとらないところに近づけたと自信を持っています」との所感を述べ、最後に「それでは今日のパーティーを存分に楽しんでください」と結んだ。

森 喜朗	第 85 代内閣総理大臣 / 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 会長 ※公務のため出席
河村 健夫	衆議院議員 自由民主党 選挙対策委員長 / 前内閣官房長官
海江田 万里	衆議院議員 民主党代表
浅尾 康一郎	衆議院議員 みんなの党代表 ※公務のため出席
猪口 邦子	参議院議員 自由民主党 元内閣特命担当大臣 / 一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー 会長 ※公務のため欠席
岩屋 毅	衆議院議員 自由民主党 政務調査副会長 / 国際観光産業振興議員連盟 幹事長
木村 太郎	衆議院議員 自由民主党 内閣総理大臣補佐官 (ふるさと担当)
加瀬 英明	外交評論家
島田 晴雄	千葉商科大学 学長 / 慶應義塾大学 名誉教授 / 前 内閣府特別顧問
石渡 恒夫	京浜急行電鉄(株) 代表取締役社長
澤田 秀雄	㈱エイチ・アイ・エス 代表取締役社長 / ハウスデンボス(株) 代表取締役社長 / 澤田ホールディングス(株) 代表取締役社長
分林 保弘	㈱日本 M & A センター 代表取締役社長
井門 達人	㈱ハウジングいもん 代表取締役社長
牛久保 洋次	㈱いかしあい 代表取締役社長 / ㈱友アンド愛 創業者 / ㈱ビザカルフォルニア 創業者
水上 孝一	㈱ケイ・エム・シー 代表取締役 / 千葉商科大学 特別客員教授 / 日本ビジネス協会 専務理事 / 元 経済界クラブ 事務局長
近藤 太吾巳	㈱ネクシース 代表取締役社長 / 一般社団法人 パッションリーダーズ 代表理事
元谷 外志雄	アパグループ 代表
元谷 美英子	アパホテル(株) 代表取締役社長
塚田 武典	ダイヤモンド経営者倶楽部 常勤特別顧問
時田 宗明	㈱経済界 専務取締役
谷口 智治	一般社団法人 全国経営者団体連合会 理事長
川藤 幸三	阪神タイガース OB 会長
大前 裕子	作家 / 週刊ホテルレストラン 編集委員
太田 達	㈱オータパブリケーションズ 代表取締役社長
辻 晴雄	元シャープ(株) 代表取締役社長 ※欠席
高野 登	元リッツカールトン 日本支社長 ※欠席



海江田万里氏

衆議院議員 民主党代表
「事業を成功させるために最も重要なことは気配り。河野さんはすごく気配りのできる人物であると感じる。次に重要なのは無理を聞いてくれる方たち。三番目は今回のパーティーの参加者の顔ぶれを見ればわかる通り広い人脈を持つこと。貴博の先駆者としてこれからも河野さんを応援していきたい。海江田の劇は短く終わるのが特徴なので、今日もそうさせて頂きたい。そういう意味では、スピーチは短く、手紙は長く、事業も長くというのが一番。今日は本当におめでとうございました」



島田晴雄氏

慶応義塾大学 学長 / 慶應義塾大学 名誉教授
前 内閣府特別顧問
「河野さんは優れた才能をいくつか備えているが、まずは研ぎ澄まされた時間感覚。もう一つはトレーダーをされていた経験が生きているのが瞬時の判断力にだけではないこと。最後に備えた着眼点。TKPのビジネスモデルは経済が成長しているときよりも低迷期にこそ業績が拡大するものなので、今日も日本で、あるいは世界でも求められている事業と見える。純真な笑顔の裏に秘められたスピーチ感覚、経営感覚、人間感覚、世界観はすごい。まだ41歳(パーティー当日)ですから前途洋々です。応援団として活潑にものすごく期待している」



石渡恒夫氏

京浜急行電鉄 代表取締役会長
「河野氏は3年ほど前にTKPガーデンシティ品川をオープンさせましたが、以来事業を順調に進展させておられる。品川はJR東日本線のリニアモーターカーの始発駅として決まり、また品川駅の南に新駅設置が決まって大規模再開発地域となるなど近年注目度が急激に高まっている地域。いち早く品川の可能性に着眼し進出を決めた河野氏のビジネスセンスに脱帽する。強力なITの力と発想力を駆使したTKPのビジネスモデルはまさに社会にフィットしている。進化拡大し、ブランド力と経営力を高めてグローバル展開を今以上に進められることを期待します」



澤田秀雄氏

関エイチ・アイ・エス 代表取締役会長 / ハウスデンボス 代表取締役社長 / 湯田ホールディングス 代表取締役社長
「なに?」このパーティー! いったい何を考えているのだ、と言いたくらくらに驚愕らしい(笑)。私はTKPの役員ですので、河野氏に代わり感謝申し上げます。役員の間から河野氏の長所を挙げさせて頂く。まずは強烈なバイタリティー。経営にはすごいパワーが不可欠なので、事業を成功に導く最も重要な資質です。次にスタッフへの教育に熱心な点。「企業はひとり」ですからスタッフが力をつけてくるとさらにパワーのある会社になると思います。3つ目は優れた経営センス。短所はあえて今日はいません(笑)。今後河野氏をよろしくお祈りします」



元谷外志雄氏 ABAグループ代表

「河野氏との出会いは4～5年ほど前。ソフトな見かけや物腰とは裏腹に、スピーディーで決断力が早いのが印象的でした。普段からあらゆる想定を強中でめくれているからこそできること。世の景気の浮沈に関係なく業績基礎を築いたことはABAグループの誇りだが、TKPもそこは同じなので共感を強く感じる。私が東京進出して出会った若手経営者のなかで河野さんの力量はピカイチ。ビジネス面でのコラボもさらに押し進めていきたい」

元谷英美子氏 ABAホテル 代表取締役社長

「『スーパーベンチャーの創り方』は余りにも面白いので2回も読み返しました。今年読んだ本の中では、百田尚希氏の『永遠の0』とともに最も印象に残った一冊。私と河野氏との初めての出会いは5～6年ほど前に日経新聞の広告記事の対談をしたとき。その際にコラボ事業を将来的にやろうとの約束を交わし、TKP ABAホテル提携として今年実現できました」

祝 辞

そうそうたる発起人の面々

続いてパーティーの発起人25人の名が読み上げられ、順にステージに登場。顔ぶれについてはリストを参照して頂きたいが、政財界のビックネームや有名文化人が一つのステージに並び立つ様は壮観のひとつ。彼らの存在抜きには河野貴博氏の今日の成功は語れないが、見方を変えればTKPの勢いを象徴する顔ぶれでもある。発起人に著者村上を加えた記念の集合写真の撮影が終わると、発起人代表として5人が祝辞を述べた。

5人の顔ぶれは海江田万里氏、島田晴雄氏、石渡恒夫氏、澤田秀雄氏、元谷外志雄・英美子夫妻。それぞれに河野氏との出会いのエピソードやその人柄、ビジネス手腕に関する評価を、ユーモアと親愛の念を込めたトーンで披露した。

特にTKPの役員でもある澤田秀雄氏が朝一口番放った「なに?」このパーティー! すごいにも程がある」という言葉がこの日のパーティーを的確に表現しており印象的であった。

19時40分過ぎ、祝電読み上げの後、近藤太香日氏の音頭で乾杯が行われた。いよいよ歓談・交流会がスタート。ひとまず整然と各々のテーブルで食事とドリンク、そして会話を楽しんでいる様子の参加者たちだったが、ほどなく自分の席を離れ他のテーブルの知人や、新たな交流を求める動きが活発になり、丸テーブルの間際を行きかう人の流れが生まれ始めた。河野氏と著者村上は、2人組でテーブルごとを挨拶をして回る。雰囲気馴染み、気持ちほぐれた参加者たちの歓声や笑いが会場のおちこちからわき上がり、出会いを納める携帯電話やカメラのフラッシュがきらめく。会場全体のテンションが次第に高まっていくのが分かる。



NHK総合テレビジョン「プロフェッショナル 仕事の流儀」 「NHK紅白歌合戦」の司会も務めたフリーアナウンサーの住吉美紀さん



乾杯の音頭をとる関ネキイス代表取締役社長近藤太香日氏



会場となったボールルームは最大2000人を収容可能。国際会議やカンファレンスに最適



品川グースの1階ボールルームが出版記念パーティーの会場に。リニューアルを経てグレードアップ

「スーパーベンチャーの創り方」
～TKP 創業者 河野貴輝の起業論～ 出版記念パーティー

20時を10分ほど回り、河野貴輝氏と著者村上による「スーパーベンチャーの創り方 -TKP 創業者 河野貴輝の起業論」トークセッションがスタート。二人の出会いから本書制作決定の経緯、制作時の印象的なエピソードの紹介やTKPの今後の方向性などについて軽妙なやりとりのうちに語られた。

【村上】この本の製作期間は1年4カ月でしたが、その間河野貴輝ともっとも長い時間を近くで過ごしたのは私みたいですよ。

【河野】確かに、あまり表に出さない私をさらしました。

【村上】(笑)エイチ・アイ・エスの澤田さんが本書のインタビューであったが10年後にはけた違いの人物に成長すると予測している。

【河野】うれしいコメントでした。

【村上】本書ではあなたを囲む20数名にインタビューして、10年後のあなたを予測してもらったが、「政治家」との回答が過半数を占めた。

【河野】今はTKPをつぶさないことで精いっぱい(笑)。将来のことを考える余裕はありません。



2nd, October, TKP Garden City Shinagawa, TOKYO.

【村上】あなたは真っ白なキャンパス。これからどんな色にでも染められる可能性を秘めていると思っています。

【河野】おでんの具では大根と言ったところですか。

【村上】河野さんはオンとオフの切り替えが上手ですが、その秘訣は。

【河野】そうでもない。先日長期休暇を石垣島でとったのですが、逆に体調を崩した。完全に仕事を切り離すと調子が狂うらしい。仕事に復帰したとたん元気を取り戻しました(笑)。

【村上】最後に、来年の河野貴輝について聞かせてください。

【河野】インバウンド獲得のためのMICE誘致が国策として進められているので、TKPでも外国人をターゲットにすえ、セミナーや研修のニーズをキャッチしてそれにふさわしい場所を提供する事業に力を入れます。

【村上】わかりました。もう一つ忘れてほしいのは本書のPART2を出すという約束です。是非作りましょう。

【河野】何とか実現したいですね(笑)

軽妙洒落なトークセッション～来年はPART 2刊行か？



中締め後、しばらくしてエントランス付近にテーブルを設置して行われた河野氏と著者村上によるサイン会。2人並んで丁寧に一冊一冊サインを入れていく



「TKPでも外国人をターゲットにすえ、セミナーや研修のニーズをキャッチしてそれにふさわしい場所を提供する事業に力を入れます」



「あなたは真っ白なキャンパス。これからどんな色にでも染められる可能性を秘めていると思っています」



会場に設けられた「スーパーベンチャーの創り方」特設ブース

「スーパーベンチャーの創り方」

～TKP 創業者 河野貴輝の起業論～ 出版記念パーティー

2nd, October, TKP Carden City Shinagawa, TOKYO.



河野氏の父親道有さんと母親の朱美さん。コントの際に「河野社長と顔がそっくり」とレギュラー松本氏からイジられる場面も



中締めを行った阪神タイガース08年 会長を務める元プロ野球選手川原幸三氏。アパホテルの専務を介して河野氏との付き合いが始まったという。さすが元プロスポーツマンだけあって、声量が大きく腹に響く声



余興として「あるある探検隊」でおなじみの吉本興業お笑いコンビ「レギュラー」の松本康太氏が TKP 社員と即興でコントを行なった。以前から河野氏と親交があり応援に駆けつけた



向かって右から森トラスト・ホテル&リゾート代表取締役社長の伊達美和子氏、熊ユニマッドリゾート&コミュニティ代表取締役社長の名塚慶司氏、著者村上、森トラスト副専務取締役の小松勉男氏



墨州友好協会理事専長の前田 夏氏と作家の大前侑子氏



中央からアパホテル副 代表取締役社長の元谷美生子氏、向かって左はホテルジャーナリストの小原康裕、向かって右が弊社太田達



協賛スポンサーの大塚製菓がボカリスウェットを提供。参加者に配布された



豪華な菊花の数々。会場を華やかに彩った

書籍概要

「IT とリアルビジネスの融合」をキーワードに、桁外れの行動力と洞察力で、1人1時間 100 円という貸会議室ビジネスを創業 8 年で売上高 100 億円越えへと急成長させ、「スーパーベンチャーの代名詞」といわれるまでになった若き経営者・河野貴輝氏の半生記。全国書店にて好評発売中。

【河野貴輝氏プロフィール】

株式会社ティーケービー 代表取締役社長

1972 年大分県生まれ。1996 年慶應義塾大学商学部卒業後、伊藤忠商事副 為替証券部を経て、日本オンライン証券(現カブドットコム証券)設立に参画、イーバンク銀行(現楽天銀行)取締り営業本部長等を歴任。インターネットにおける金融業のノウハウを取得し、2005 年 8 月当社設立、代表取締役就任、現在に至る。

【ご購入のお問い合わせ】(株)オータパブリケーションズ

販売部直通フリーダイヤル 0120-047-911 hanbai@ohatapub.co.jp

スーパー **TKP**
ベンチャーの
創り方

河野貴輝の起業論

河野 貴輝

